

もえちゃんに 生きるチャンスをください!!

兵庫県西宮市在住のふじさき もえちゃん(2才)は「拡張型心筋症」という重い心臓病の為、現在国立循環器病センターで治療を受けています。この病気は、心臓の筋肉が徐々に衰えてポンプの役目が果たせなくなる、原因不明で進行性の病気です。

発症以来、内科的治療を受けて来ましたが病状は改善されず、唯一助かる手段は心臓移植しかありません。しかし、日本では15才未満の方の臓器提供は法律では認められておらず、2才のもえちゃんに適應する心臓は海外の移植に頼るしかありません。

主治医の御尽力で米国のロサンゼルス小児病院での受け入れが決まりました。

この移植手術を受けるためには、渡航費、手術費、滞在治療費等で約8000万円という、個人ではとうてい負担できない費用がかかります。

そこで私達は「もえちゃんを救う会」を結成し、募金活動を開始することにしました。



もえちゃんが
一日でも早く心臓移植がうけられるよう
皆さまの御協力を
よろしくお願いします

目標金額8000万円

募金のお振り込み先

口座名 「もえちゃんを救う会」

■郵便局 郵便振替 00950-9-49106

口座名 「もえちゃんを救う会 代表 益子昌美」

●三井住友銀行 北須磨支店 普通4780933

●みなと銀行 須磨ニュータウン支店
普通1561523

●尼崎信用金庫 門戸支店 普通0372615



『もえちゃんを救う会』

【代表】 益子昌美(ますこ まさみ)

【事務局】 午前9時~午後5時

〒662-0826 兵庫県西宮市門戸岡田町8-1
TEL.0798-56-0530 FAX. 0798-56-0531
e-mail: moesukuu@gw8.gateway.ne.jp
<http://www2.gateway.ne.jp/~moe-moe/>

私達も応援しています 馬場順三(前西宮市長) / クロード・チアリ(音楽家)
全国心臓病の子どもを守る会兵庫県支部 / NPO日本移植支援協会

耀く社長 ② 釘嶋達男 ティ・フォ・アート代表

宝石は ドラマチックなもの。



(株)くぎしまから独立してジュエリーとネイルケアのショールーム「ティ・フォ・アート」をオープンした釘嶋達男さん。お客さまと「あしよか、こうしよか」と親身なアドバイスをサロンの

ジュエリーデザインの創作活動を
復活させたい

——2月1日に独立なさったそうですね。

釘嶋 「くぎしま」は宝飾会社として神戸で40年近い実績をもつ会社で社長が兄で私は専務。36年間いて、営業、小売畑を歩いてきたんですが、会社はメーカー機能の卸分野でして、20年前から小売もやり始めて15000人の顧客をもつまで大きくなり、規模も商品も広げなくてはならなくなりました。50歳を過ぎたときに、会社の方向が僕の生き方の理想と外れてきたように思えて、最後のチャンスと思って独立しました。

——もともとはジュエリーデザイナーだったのですよね。

釘嶋 デザインや加工をやっていたのです

釘嶋達男 昭和22年熊本県天草生まれ。株「くぎしま」に入社。東京のジュエリーデザイナー・田村俊一氏に師事。デザイン、技法を学び、デビアス社日本ジュエリーコンテストに度々入賞する。昭和45年、神戸に戻り「くぎしま」で兄とともに事業を拡大する。平成14年2月1日に独立。



が、20歳過ぎに2年ほど東京へ修行にきました。デザインや彫金を勉強して神戸に帰ってきました。ですから自分が本当に好きなことをやりたい、お客さんとコミュニケーションをしながら、ジュエリーやネイルの話をしながら商品の注文を聴いたりアイデアを出しあったりできる場をつくりたいと思ったのです。

——ティ・フォ・アートの経営方針と特徴はなんですか。

釘嶋 私と4人のグループで外販、商品企



(上) つぎつぎと新作が展示されるアトリエショールーム。リフォーム、サイズ直しなどもこのサロンでやってくれる

(右) ネイルアーティストの釘嶋博子さん。知らないショップのネイルケアに行くのは、はずかしいと年配の方々にとくに喜ばれている。2,000円とお手ごろ価格でネイルケア・ネイルアートを楽しめる



画、販売企画をやりながら、お互いに商売して伸びていくという方針です。その拠点がこのショールームです。私の顧客や他のメンバーの顧客などそれぞれが独自の方法で商売をしていくという今までとは違う

会社経営です。僕は事業をやってきた強みとアーティストとしての二面性を打ちだしていきたくですね。それぞれが代理店活動もするなどファミリー、仲間としてやっていきたいと思つてます。今後グループの人数はもつと増えていくでしょうね。

特徴は商品のオリジナル性。買い易い価格の品揃えですね。それとネイルケア、ネイルアートを4〜5年前からやっています。

お客さまとは長い付き合いの方が多く、相手の気持ちを考えながら納得のいくアドバイスができます。

若いころは細いきれいな指に小さなダイヤは可愛いですが、50代になるとそれではちよつと頼りないでしょ。大きい石を持つてるとリフォームやデザインが十分できませんですね。これからは、リフォームの時代でもあるのです。的確にアドバイスできる経験者が必要になってきますね。

宝石はきれいな指先に似合う

——奥さまの博子さんがネイルケアサロンをおやりなのですね。

博子 ある日突然ひらめいて…。指先と宝石の関連性に気がついて、宝石をすると指先が気になるんですね。ささくれてたりして恥づかしい思いをしたり、きれいな指に

お気に入りの宝石をすると優雅な気分になります。月に2回、病院の産婦人科でお母さんたちの爪のケアをするのですが、とても好評で、産後のマタニティーブルーも解消されるようです。もう陣痛が始まっているのに、気分が紛れるからとケアを受けられる方もいて、新しい感覚に驚かされたりします。

趣味は夏の鮎釣り

——さて、私生活などお遊びのお話を…。

釘嶋 遊びはひと通りやってきてますが、今は鮎子さんですよ。鮎釣り、揖保川にログハウスを建てて別荘をもつのが夢ですね。ゴルフはハンディ10までいったんで止めて夏の鮎釣りに30回ぐらい行きます。というより自然に親しむのが好きなんです。ひとりで行くことが多いですね。頭を真っ白にするのがいいんですよ。それには自然が一番いいと違うかな。新鮮なアイデアやデザインが生まれてくる源ですからね。

——釣り竿とかに凝っていらつしやる。

釘嶋 凝ってますね。去年は竿1本ウン十万円 of 買いました。(横から博子さんが竿に保険かけてますから、と) あとは二人とも可愛いモモちゃん(柴犬)がいるので旅行も一緒にというのがなくなりましたね(笑)。



兵庫県韓国会合同新年会 1月12日、民団兵庫県本部談俊団長、崔鐘太兵庫韓国商議所会頭、婦人会李甲申出会長、金勝幸青年会長の主催で開かれた

知香流の平成14年新年会に集う 成瀬香梅宗家、香泉宗元のもと、1月8日ポートピアホテルで新年会が。貝原俊民元兵庫県知事、節子夫人もともに



こうべ芸文新年会 神戸芸術文化会議議長・加藤隆久氏の平成14年新年のつどいが1月21日神戸ハーバーランドニューオータニにて開かれた。写真は新入会員のみなさん



活気をもつとーと新年会 さんプラザ、センタープラザ、センタープラザ19階の東天紅でもつと三宮の活性化を、と意気盛ん



コシノヒロコと飯装パーティー 12月22日菅屋のコシノヒロコさんのアトリエで。飯面をかぶれば恐くないとアーティストたちは大変身



ウィットセルさらにパワーアップ 2月13日、ウィットセル神戸激励会が、神商ホールで開催された。三浦和良選手が抱負を述べた。写真は新メンバーの城彰二選手ら



嵯峨御流神戸所新年祝賀会 元気のいい司所長の吉田泰巳さんの開く新年会は華やか。1月20日神戸ポートピアホテルで。マリンバ演奏が圧巻



一宮さんの年頭拝おごそかに 山森大雄美一宮神社宮司と藤田尚孝委員長による年頭拝が1月11日斎行された(写真は直会風景。山森宮司とともに)



カモカのおつちゃんさようなら 川野純夫医学博士(78歳)が1月14日亡くなられ、16日ご葬儀が。田辺聖子夫人が心に残るあいさつを

第3回1・17ART展 初日、藤本義一さん、新野幸次郎さん、中西勝さん、榎田英俊さんが力強くテープカット



描かれた美しい女性たち 2月2日〜3月3日、関西国際文化センターで「女性美の500年展」が開催され、連日多くの人々が訪れ大盛況。「見知らぬ女」など名画が一堂に



山口牧生と集う会 昨年12月に亡くなられた画家の山口牧生さんをしのび、2月10日西宮市大谷記念美術館で、牧生さんの絶作「いとけなきもの(石彫)」を囲んでさわやかな会に



岸本吉弘展 抽象画家・岸本吉弘が1月18日〜2月3日トアロード画廊で個展を開催。ミツロウを使用した質感のある表層、独特な重みをもつ色彩が印象的



美しい和紙ちぎり絵の世界 兵庫県和紙ちぎり絵協会の公募展が1月23日〜27日、兵庫県民会館アートギャラリーで開催され、個性豊かなちぎり絵作品が並んだ



矢田市長を囲んで 矢田立部市長を囲む新春交歓会が1月19日神戸国際展示場で行われ、オリックスの石毛監督も激励のあいさつを



深川和美コンサート開催 2月9日ジーベックホールで深川和美さんがかつて神戸淑女の社交場だったキャバレーで愛された歌を披露



ひとあし先に春の訪れ 2月1日〜7日元町カルチャー倶楽部で佐藤悦枝さんの「花のきもの」展が開催。美しいアートフラワーに感嘆



かわいい花に囲まれて 杉野まりさんの「花屋さん」が2月4日〜16日ギャラリー翔で開催。布芸や造花など花にこだわった作品たち



年々深まる活動 アジアへ井戸を贈る運動協力など、熟年者による奉仕団体、神戸シニアライオンズクラブが第140回例会開催



日本伝統の美意識 1月31日、大丸神戸店美術画廊で「小島雄四郎展」が行われた。木工、漆芸、らでん技法などを使った工芸作品が





第12回 神戸っ子賞 受賞者発表

月刊神戸っ子創刊30周年を記念して創設した「神戸っ子賞」。分野を問わず、永年の活動の蓄積によって、神戸文化の振興とイメージアップに功労のある方に賞を贈らせていただきます。〔授賞式は4月25日神戸ポートピアホテルにて〕

選考委員



かいほら としたみ
貝原 俊民

〔元兵庫県知事
(財)兵庫地域政策研究機構理事長〕

石阪 春生
武田 則明
小泉美喜子



第31回 ブルーメール賞 受賞者発表

創刊10周年を機に神戸の文化を推進するために文化賞「ブルーメール（青い海）賞」を創設いたしました。各部門別に選考会を開き左記の5名の方に賞をお贈りいたします。〔授賞式は4月25日神戸ポートピアホテルにて〕

選考委員

◆文学部門



いまむら きんむら
今村 欣史

〈詩人〉

伊勢田史郎
安水 稔和
鈴木 漠

第12回神戸っ子賞 第31回ブルーメール賞

UCC

UCC上島珈琲株式会社

santica

The New Heart of Kobe 神戸・三宮さんちか

財団法人
井植記念会

◆音楽部門



田中 敬子
たなか けいこ

〈ピアニスト〉

選考委員

小石 忠男
響 敏也
中西 弘則

◆美術部門



山口 さとこ
やまぐち さとこ

〈彫刻家〉

選考委員

中島 徳博
河崎 晃一
岡田 弘

◆舞台芸術部門



阿藤 久子
あとう ひさこ

〈フラメンコ舞踊家〉

選考委員

佐野 漣箕
岡田 美代
山本 忠勝

◆ファッション部門



シューズプラザ

くつのもちながた神戸株式会社
代表取締役社長／河野忠博

選考委員

藤本ハルミ
鈴木 章子
岸上 龍平
見寺 貞子

— 協賛企業 —



boulangerie française
株式会社 **MSA**
We Serve The Best Quality



株式会社 エルアイシー
商業不動産事業計画コンサルタント

震災復興に多大なる尽力

貝原 俊民 (財)兵庫地域政策
研究機構理事長・元兵庫県知事



震災復興にも力を尽くした



「ジャパンフロア2000」にて

推薦のことは

貝原県政15年の軌跡をまとめた「兵庫は美しく」が、兵庫ジャーナル社から2001年8月に「活力ある明日の兵庫をつくる会」の編集で発行された。

関西連合会長の秋山喜久氏は、関西活性化の貢献に淡路花博「ジャパンフロア2000」の、関空づくりで失った緑を再生し、淡路夢舞台建設、約70万人来場した功績は大と。関学大の浅野仁教授は、全国に先駆けての「福祉のまちづくり条例」

の制度の先見性を。

震災復興に数か月県庁に泊まり込み指揮した「信念と責任感の人」と、建築家の安藤忠雄氏。自然や芸術への造詣深さが「淡路花博」の成功を導き、「県民の森」の提唱も21世紀の都市や、真に豊かな生活のあり方を常に考える姿勢が見事だと語っている。

「自然学校」や「トライやる・ウィーク」など、少人数教育などや、芸術文化の施策がユニークだと石井亮一(兵庫県連合会会長)氏。

選考経過

選考では、行政・経済・文化の各分野から幅広く人選が行われた。行政では、前・兵庫県知事の貝原俊民、経済界では、真珠振興に貢献が大きい田崎真珠社長田崎俊作、「信金のドン」とも言える兵庫信用金庫理事長園田正和、神戸華僑総会名誉会長の林同春、画家の育成に力の大きい元町画廊オーナー佐藤廉、文化界からは、ヴァイオリニストの辻久子、淡路花博のイメージキャラクタークターで知られる画家永田萌、書道界の第一人者望月美佐、邦舞界の重鎮として活躍の花柳呂月。また、長年にわたって神戸市婦人団体協議会を通して婦人・文化問題に取り組み妹尾美智子、神戸のハイカライズムを今に伝える神戸風月堂社長の下村俊子、神戸

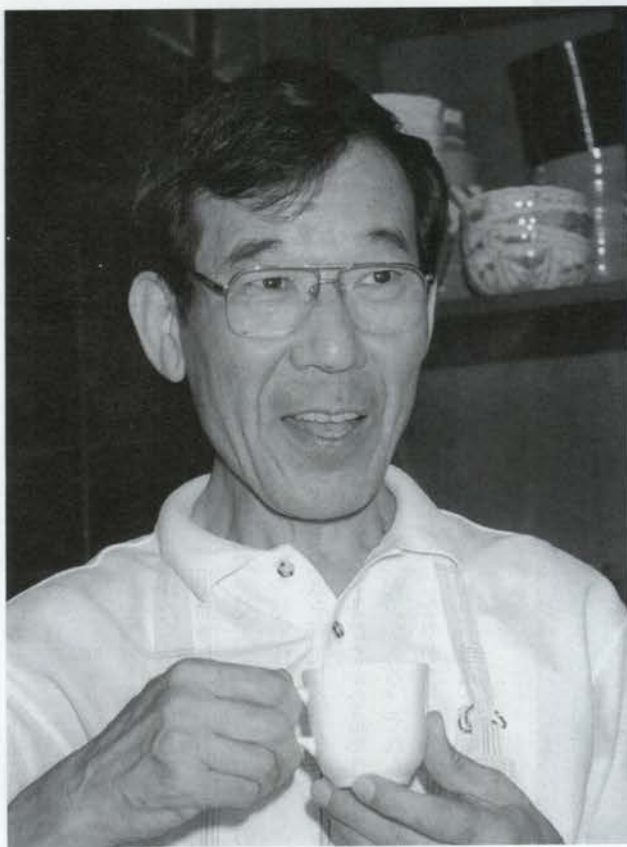
作家の角間隆氏は、「葉隠の血をひく古武士の風格をそなえた指導者だ」と書かれている。

その葉隠武士が、知事を退かれてから夫人の節子さんの車椅子を押されて共に散策されるうわしい光景に出会った石阪春生画伯は「とても真似は出来ませんよ」と感嘆しきり。「こころ豊かな兵庫」への道を、県民と共に歩まれ「美しい兵庫づくり」の道筋を創られた貝原俊民元兵庫県知事に、2002年度の神戸っ子賞を贈りたい。
〈小泉美喜子〉

でコーヒー文化を育てたにしむら珈琲オーナーの川瀬喜代子の名があがった。スポーツ界では、今や「世界人」のイチロー、ラグビーの平尾誠二も評価された。最終的には、震災復興、淡路花博、芸術の館開館に功績の大きい貝原俊民の受賞となった。

歴代受賞者

1. 淀川長治(映画評論家)
2. 朝比奈隆(指揮者)
3. 陳 舜臣(作家)
4. 宮崎辰雄(前神戸市長)
5. 中内 功(ダイエー会長兼社長)
6. 中西 勝(画家)
7. 東山魁夷(画家)
8. 妹尾河童
(舞台芸術家・エッセイスト)
9. 高村 勲
(コープこうべ名誉理事長顧問)
10. 新野幸次郎
(神戸都市問題研究所所長)
11. 鬼塚喜八郎(アシックス会長)



BM 第31回ブルーメール賞 文学部門

カウンター越しに見つめ続けた人間模様

今村 欣史〈詩人〉

選考委員

伊勢田 史郎〈詩人〉

安水 稔和〈詩人〉 鈴木 漢〈詩人〉



編集工房ノア 本体2000円

推薦のことば

受賞詩集の題名「コーヒーカップの耳」の由来は。詩人の営む喫茶店のカウンター席に座る客達の話を書きとめた詩集だから。店の名は《輪》。

聞いたことを書くのは簡単
 のようで、実は難しい。一話一話に
 明確な動機づけがあつて、それを正
 確な眼差しと柔らかくおしむよ
 うな語り口で仕上げて、すらすらと読
 ませる。こんな難しいことをこの人
 はやつてのけた。

散文の形を取って関西弁で語られ

選考経過

選考対象は現代詩。過去2年間に発行された中から、顕著な詩集が挙げられた。一昨年に続いて、「殺佛」の富哲也、「鯉の翼」の川田あひる、新たに、「彌勒」の磯田ふじ子、「山犬」の小島みどり、「テニアン島」の工藤恵美子。独特の世界を表現している松本恵子の「萌音」や鈴木絹代の「もんだげ」も候補に。夜をテーマに身近な死を書いたたかぎたかよしの「夜に触る」、「残氓」の高谷和幸も充実。最終的には、全編将棋の詩で綴った「駒袋」が一般にも強くアピールできるとして高橋富美子、詩そのものの魅力を評価された「単体の空」の福田知子、喫茶店のマスターとしての温かい眼で深く人間を描いた「コーヒーカップの耳」の今村欣史が絞

る35篇の作品は、庶民の生きる知恵を伝え、ユーモアとベロソスの匙加減はなかなかのもの。読んでいて笑い出しそうになり、読み終わって鼻がつんとする。

戦前から戦後、現在に至る市井の人々の偽らぬ姿とその本音が、《愛しく愛しい人間模様》(著者の前書きから)が、見事に語られている。

得難い作物であり、上質の読み物であり、現代詩の一つの可能性を秘めている。この先、楽しみな詩人である。
 (安水稔和)

り込まれた。結果、今村欣史が、聴き語りの形を取った今回の作品と過去の活動から詩の書き手としても信頼できるとして満場一致で決定した。

歴代受賞者

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 中村 隆〈詩〉 | 16. 山西史子〈小説〉 |
| 2. 鄭 承博〈小説〉 | 17. たかとう匡子〈詩〉 |
| 3. 小泉八重子〈俳句〉 | 18. 森 栄枝〈小説〉 |
| 4. 福元早夫〈小説〉 | 19. 田中紀子〈詩〉 |
| 5. 三宅 武〈詩〉 | 20. 夏日ゆらこ〈小説〉 |
| 6. 秋吉 好〈小説〉 | 21. 渡辺信雄〈詩〉 |
| 7. 江頭越子〈詩〉 | 22. 吉田典子〈小説〉 |
| 8. 桜井利枝〈小説〉 | 23. 村中秀雄〈詩〉 |
| 9. 梅村光明〈詩〉 | 24. 大塚雅子〈評論〉 |
| 10. 吉保知佐〈小説〉 | 25. 増田まさみ〈詩〉 |
| 11. 李村敏夫〈詩〉 | 26. 野元 正〈小説〉 |
| 12. 福岡勝利〈小説〉 | 27. 岩崎風子〈詩〉 |
| 13. 時里二郎〈詩〉 | 28. 毛 丹青〈エッセイ〉 |
| 14. 松尾美恵子〈評論〉 | 29. 由良佐知子〈詩〉 |
| 15. 武田信明〈詩〉 | 30. 北原文雄〈作家〉 |

BM 第31回ブルーメール賞 美術部門

内的に体験された「自画像」

山口 さとこ 〈彫刻家〉

選考委員

中島 徳博(兵庫県立近代美術館 館長補佐)

河崎 晃一(芦屋市立美術博物館 学芸課長)

岡田 弘(元町画廊 社長)

推薦のことは

山口さとこの作品に、ある種の「自在さ」を感じ取ったのは、一昨年兵庫県立近代美術館で開催された「美術の中のかたち」手で見える造形」展に出品された、大小さまざまな石彫群を見てからだ。表面的な美しさや写実性、プロポーション等への配慮を無視した、とらわれるもののない伸びやかな造形性に目を見張った記憶がある。それらの作品はまた、しなやかさと光への融合性をあわせもつ不思議な生命力をも秘

めており、この作家がひとつの境界を乗り越えたことを明確に物語っていた。

さらに昨年の4月、北野Pock et美術館で開催された「Mt.ステロイド」は、その印象を強めることとなった。画廊空間全体を使ったインスタレーションは、この作家特有の神話的世界をさまざまな素材をもちいて大胆に展開してみせられた。それは全体でもって、内的に体験された「自画像」とでも呼べる世界である。おそらく「災害時の非常

口又は応急処置としての作品。それを発表するという二重の緩衝装置。」という作者自身のコメントが、この個展の意味をよく語っているように思われる。彼女にとつて作品とは、それによって精神のバランスを保つための必需品なのであり、生きることと切り離すことのできない何ものである。

深い混沌を抱えながら、安易な妥協を排する山口さとこの、これからの活躍が大いに期待される。

〈中島徳博〉

選考経過

どの作家も安定した制作活動を続けており、独自の世界を生み出していると評価された。中でも昨年トアギャラリーで個展を開き将来が期待される岸本吉弘(絵画)、より深みを増した田中美和(絵画)、コンスタントに活動を続ける善住芳枝(絵画)、新しい境地を開いた児玉靖枝(絵画)、小畑延子(絵画)、イラストレーターとしても活躍を続ける寺門孝之、湧嶋克己などの名前も。造形では地道な活動を続ける山口さとこ(造形)、重松あゆみ(陶芸)や、鳩本昭三の弟子で、宝塚造形大学在学中の松井耕平(造形)、紙コップアートのLOOOはロンドンでも話題に。「横浜トリエンナーレ2001」の参加者で、ビルにとまる大きなバッタで話題を呼

んだ椿昇(彫刻)、やなぎみわ(写真)、東芽(絵画)などの名前も。今回受賞の山口さとこは第1回受賞の山口牧生(昨年12月に逝去)の娘。激励の意味も込めての授賞となった。

歴代受賞者

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 山口牧生(彫刻) | 17. 植松憲二(造形) |
| 2. 丸本 耕(造形) | 18. 松本 薫(彫刻) |
| 3. 小西保文(洋画) | 19. 杉山知子(造形) |
| 4. 藤原向意(版画) | 20. 田中 昇(彫刻) |
| 5. 斎藤 智(平面) | 21. 坪田政彦(絵画) |
| 6. 鄭 相和(洋画) | 22. 木津文哉(絵画) |
| 7. 山本文彦(洋画) | 23. 片山みやび(版画) |
| 8. 堀尾貞治(造形) | 24. 牛尾啓三(彫刻) |
| 9. 榎 忠(造形) | 25. 中井浩史(絵画) |
| 10. 松谷武判(版画) | 26. 奥田善己(絵画) |
| 11. 木下佳通代(平面) | 27. 赤崎みま(写真) |
| 12. 宮崎豊治(造形) | 28. 宮崎みよし(造形) |
| 13. 藤原志保(平面) | 29. 上前智祐(造形) |
| 14. 武田則明(建築) | 30. 上村亮太(造形) |
| 15. 石川晴久(平面) | 31. 内藤絹子(造形) |
| 16. 松原政裕(平面) | |



昨年の個展「Mtステロイド」の展示風景(撮影/山口さとこ)

BM 第31回ブルーメール賞 音楽部門

演奏家としての意欲を評価

田中 敬子〈ピアニスト〉

選考委員

小石 忠男〈音楽評論家〉 響 敏也〈音楽評論家〉
中西 弘則〈神戸新聞 文化部編集委員〉

推薦のことは

クラシック音楽のなかで、モーツァルトの曲ほど純粹で透明な音楽は類がない。

技術的には概して簡素だが、それがあやまちや汚れを許さない純度を要求する。したがってモーツァルトほど演奏困難な音楽は、ほかにないだろう。

モーツァルトの連続演奏会が、ほとんど行われぬのもそのためだが、ここに、その難関に敢然と立ち向かうピアニストが登場した。

田中敬子さんである。ウィーンで

4年間の勉強を続け、その後は活発な演奏活動を繰り広げる神戸のピアニストである。現在は神戸女子大学の助教として、後進の指導にもあたってている。

レパートリーはきわめて広く、従来からその活躍が注目されてきたが、その多様な経験を踏まえて、長期計画ではじめたのが、モーツァルトのピアノ・ソナタ全曲演奏会のシリーズというわけである。

モーツァルトの作品だけでなく、モーツァルト一家・その周辺の作曲

選考経過

着実に音楽活動に取り組んでいる音楽家をと、ピアニストではまず田中敬子、坂本恵子、田中潤子。また、マリンの名倉誠人、バイオリンの幸田聡子、若手で木嶋真優、梁(ヤン)美沙が候補に。団体では安定した実力の長岡京室内アンサンブル、ニューオペラシアター神戸は前回の「ドン・ジョバンニ」が評価されたが今後の活動を見守りたいとした。声楽では松本薫平、ソプラノの尾崎比佐子が昨秋の「ランメルモールのルチア」が絶賛された。ジャズ界からは、近年クラシックの世界へも足を踏み入れ顕著な活動をしている小曾根真、タイガー大越など。最終的には尾崎比佐子と田中敬子で競ったが、田中敬子が、一昨年からのもー

歴代受賞者

- | | |
|------------------|------------------------------|
| 1. 田原富子(ピアノ) | 17. 青井 彰(ピアノ) |
| 2. 矢野恵一郎(合唱指導) | 18. 広岡隆正(声楽) |
| 3. 上月倫子(バレエ) | 19. 戎 洋子(ピアノ) |
| 4. 今岡頌子(バレエ) | 20. 大前 哲(作曲) |
| 5. 小石忠男(音楽評論) | 21. 中野慶理(ピアノ) |
| 6. 中村茂隆(作曲) | 22. 田中修二(ピアノ) |
| 7. 関 晴子(ピアノ) | 23. 岡本一郎(リュート) |
| 8. 坂本 環(声楽) | 24. 畑 儀文(声楽) |
| 9. 山内鈴子(ピアノ) | 25. 釜淵祐子(声楽) |
| 10. 松本幸三(声楽) | 26. 「アート・エイド・神戸」
(プロデュース) |
| 11. 伊藤ルミ(ピアノ) | 27. 鈴木雅明
(指揮・チェンバロ) |
| 12. 井上和世(声楽) | 28. 北浦洋子(ヴァイオリン) |
| 13. 末広光夫(プロデュース) | 29. 林 裕(チェロ) |
| 14. 安芸栄三(声楽) | 30. 井原秀人(声楽) |
| 15. 延原武春(指揮) | |
| 16. 中西 覚(作曲) | |

ツァルトのピアノソナタ全曲演奏に対する真摯な取り組みを評価され今回の授賞となった。

家まで随時紹介する内容が新鮮だが、既にシリーズの3回を聴いた結果では、演奏の純度がきわめて高く、音の美しさと音楽的な洗練で、もはや成熟した音楽家であることを証明した。

彼女の評価はこのモーツァルトで確定したといえる。

今回の受賞が、さらなる飛躍の原動力となることを期待したい。

〈小石忠男〉

BM 第31回ブルーメール賞 舞台芸術部門

「舞踊の美」を真摯に追求

阿藤 久子〈フラメンコ舞踊家〉

選考委員

佐野 漣箕〈元神戸新聞 取締役文化事業局長〉

岡田 美代〈演出家〉 山本 忠勝〈神戸新聞 編集委員〉

推薦のことは

着実に自己のフラメンコ世界を築きつつある舞踊家です。とりわけここ数年の充実にはめざましいものがあります。

愛のテーマを抜きにしてフラメンコの舞台を語ることはできませんが、わが国のフラメンコはしばしば愛のまねごとで終わっています。手と腰と足と心とで愛のふりをする、それが踊りだと誤解されているのです。

無論アマチュアがそうするのはな

らら否とするにあたらないのです。プロはそうであってはなりません。プロに重要なのはまず完璧に自立的な舞踊そのものであり、その完璧に自立的な舞踊を手段に、脊椎の中心から愛を表現することです。「愛の美」の前にまず「舞踊の美」が不可欠です。阿藤久子はそれを真摯に強靱に追求している舞踊家です。

とりわけ一昨年のホアキン・ルイスとの共演、昨年のエル・グイトとの共演（いずれも新神戸オリエンタル劇場）は見事でした。スペインを代表するフラメンキストをゲストに招いて、これら大御所と悠々と対峙しながら阿藤自身の世界を完全に展開しました。スペインの男性ダンサーの剛に対して阿藤の日本的柔がすばらしい均衡とコントラストを築き上げ、彼らと彼女でなければ生まれない独自の美を現出したのです。今回の推薦もなかならずこの2つの舞台を評価してのことです。

〈山本忠勝〉

選考経過

能・狂言では上田貴弘、拓司、公威、大介の「上田兄弟会別会」、善竹隆司、隆平は実力の向上が認められた。設立50年の兵庫県洋舞家協会「2001洋舞スプリングコンサート」での波多野澄子バレエ団の斎藤由佳、貞松・浜田バレエ団「創作リサイタル13」、「くるみ割り人形」でクララを演じた正木志保も注目された。江川のぶ子バレエ団の子どもたちの踊りはすばらしく、指導の手腕が高く評価された。創立50周年の渡バレエ団など、長い歴史をもつ県内のバレエ団、舞踊と邦楽演奏と美術のコラボレーション「夢KAGUR A」の新たな試みも話題に。劇団四紀会「新開地物語」の地域を舞台にした威力、和太鼓松村組は、太鼓の共鳴に

期待の声。結果、すばらしい感性の舞台をみせてくれたフラメンコの阿藤久子に、期待を込めて授賞が決まった。



エル・グイトと共演した昨年の公演「SOLO FLAMENCO」より

歴代受賞者

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 花柳芳恵一子〈邦舞〉 | 16. 楠本喬章
〈笑クリエイト社〉 |
| 2. 若柳吉由二〈邦舞〉 | 17. 東仲一矩〈フラメンコ〉 |
| 3. 吉井順一〈能楽〉 | 18. 久田徹二〈能楽〉 |
| 4. 花柳芳五三郎〈邦舞〉 | 19. 大和楽蘭の会〈邦楽〉 |
| 5. 花柳吉史〈邦舞〉 | 20. 貞松・浜田バレエ団 |
| 6. 藤間緑寿郎〈邦舞〉 | 21. 花柳芳圭次〈邦舞〉 |
| 7. 尾上菊見〈邦舞〉 | 22. 劇団四紀会〈演劇〉 |
| 8. 藤井徳三〈能楽〉 | 23. 貞松正一郎〈邦舞〉 |
| 9. 海野光子
〈仮名手庵歌舞伎〉 | 24. 善竹隆司・隆平〈狂言〉 |
| 10. コメディ・ド・フーズ〈演劇〉 | 25. 花柳小三郎〈邦舞〉 |
| 11. 加藤きよ子〈モダンダンス〉 | 26. 若柳吉金吉〈邦舞〉 |
| 12. 藤田佳代〈舞踏〉 | 27. 太田由利〈バレエ〉 |
| 13. 花柳五三輔〈邦舞〉 | 28. 善竹隆司・隆平〈狂言〉 |
| 14. 白羽弥仁〈映画〉 | 29. 上甲裕久〈バレエ〉 |
| 15. 松本尚壽〈邦舞〉 | 30. 藤間莉佳子〈邦舞〉 |

BM 第31回ブルーメール賞 ファッション部門

ファッションシューズは神戸長田から

シューズプラザ (くつのまちながた) 神戸株式会社

選考委員

藤本 ハルミ(デザイナー) 岸上 龍平(神戸ファッション協会部長)
鈴木 章子(神戸ファッション専門学校校長)
見寺 貞子(神戸芸術工科大学助教授)

推薦のことば

京都の「着だおれ」に對して神戸の「履きだおれ」は、あまりにも有名です。しかし、長田が靴の街として全国でも有数の産地である事はあまり知られていません。特に、ケミカルシューズ産業はファッション関係の靴では、全国でもかなりの生産量を誇っています。

私たち神戸市民は、くつのまちながたのシューズプラザが、最高の神戸ブランド「神戸のファッションシューズ」の情報発信基地として、も

つともっと有名になってほしいと願っています。

この1年「シューズ・プラザ」は、全国に情報発信する重要な役割を担ってきました。ケミカルシューズのファッションショーを始めとして、学生とケミカルシューズメーカーのコラボレーションによる新製品づくりなど多くの活動に取り組んでいきます。

今回受賞されました「シューズプラザ」は最も有名であるべきケミカルシューズの情報発信に力を発揮し

選考経過

2月18日に入選者が決定した「くつのまちながた神戸アワード」など、企業とものごくりをコラボレートする催しにも積極的なシューズプラザ。障害者にもやさしい靴作りを目指すユニバーサルの中井松幸、神戸エレガンスを守り続けているマキシン、田崎真珠デザイン室の内海和子は世界的な評価のダイヤモンド・インターナショナル賞を4度受賞し名誉あるアカデミー会員に。神戸ファッションコンテストの受賞者で、現在は彫刻にも意欲的な木村健太郎、星野貞治はアメリカンエキスプレスイノベーション賞を受賞。ルシエルブルー社長の高下浩明は9月にリステア銀座店をオープン。アレックス楊も本社ビルにアトリエアレックス

てこられました。これからも、「くつのまちながた」を名実ともに全国一にするために活動される事を願っております。
岸上龍平



シューズプラザ

ヘア&ヌサドウアスバを始業、着実に店舗をグレイドアップさせている。

歴代受賞者

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 藤本ハルミ(デザイナー) | 12. 村上和子(ジャーナリスト) |
| 2. 米田博司
(神戸市心身障害者福祉センター) | 13. 中村一夫(デザイナー) |
| 3. 市野木悦子(ニットデザイナー) | 14. 柴田音吉(柴田グループ代表) |
| 4. KLTC(コウベジュニアアパレル) | 15. 丹野最世子(デザイナー) |
| 5. 太田タマコ(アートフラワー) | 16. 大西節子(デザイナー) |
| 6. K.F.S.(コウベファッションソサエティ) | 17. 福井恵子(旗の作家) |
| 7. 「真珠の街・神戸」を考えるプロジェクトチーム(パール) | 18. 服部メガネ店(メガネ) |
| 8. 神戸市家具青年会(家具) | 19. 佐藤悦枝(アートフラワーデザイナー) |
| 9. K.F.M.(コウベファッションモデル) | 20. 山本芳樹(ホテルゴーフリッツファッションライブラリー館長) |
| 10. 望月美佐(書道家) | 21. 大丸神戸店(百貨店) |
| 11. K.F.C.(コウベファッションクリエイターズ) | 22. 今岡寛和(神戸ルミナリエ作品プロデューサー) |
| | 23. (財)神戸ファッション協会 |
| | 24. VEGA(ジャヴァグループ) |



海と空と大地のシンフォニー

「HAT神戸フェスティバル」が開催

お話を伺った方 元治正明さん 兵庫県東部新都市整備推進室長



安全・安心をテーマにした
まちが生まれたよ

ここには「健康・環境・
安全・福祉文化」の
国際的な機関や施設が
集まってるんだ

HAT神戸フェスティバルって
この街にふさわしい
4つのテーマでメインイベントが
開かれるんだね

第一部
出合い交流

ウォーター
カッコー!!
水上スキーに
カイトショーだ

土日でテーマが
変わっていくんだよ

神戸市東部で整備が進むHAT神戸と、そこで三月二十三日から四月十四日にかけて開催される「HAT神戸フェスティバル」について、兵庫県都市計画課神戸東部新都市整備推進室長の元治正明さんにお話を伺いました。

まず「HAT神戸（神戸東部新都市）」についてお聞かせください。

HAT神戸は、神戸市中央区東部から灘区西部にかけての工場跡地を有効利用するため、整備が進められてきました。被災者向けの公的住宅の建設に始まり、HAT神戸中心地区では、いのちを支え、生きる力となる「健康・環境・安全・福祉・文化」に関わる施設群が整備されており、現在、そこにさまざまな国際機関も集積しつつあります。今春には、四月六日から一般公開される県立美術館「芸術の館」を始め、「JICA（国際協力事業団）兵庫国際センター」

「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」（二期施設）が続々とオープンします。人と防災未来センターの二期施設や県立災害医療センター・日赤新病院（仮称）なども、今後整備される予定です。

三月には、このようなまちの誕生を宣言する「HAT神戸フェスティバル」が開催するそうですね。

三月二十三日から四月十四日までの二十三日間の期間中、毎週土・日曜日には、週替わりで多彩なイベントが行われます。三月二十三日、二十四日は「出合い・交流」がテーマのオープニングイベント。アメリカのプロチームによる、水上スキーとカイト（風）のショーがHAT神戸に面する海上で繰り広げられるほか、各国の芸能や物産を紹介するステージやバザールなどが行われます。二十三日には、タレントのKONIS HIKIさんを招いて、一昨年から実施してきた「See 阪神・淡路キ

第2部
「住・安全」

コレクティブハウジングが安心して生活できる

第3部
「食・健康」

健康のために私もちょうか木

屋台で食べてグルメメニューでおみやげを買おうよ

警察や消防の人ってすごいね

第4部
「いのち感動」

いろんなアートが見れるのね

実習もあるよ

ヨーロッパの蚤の市やリサイクルマーケットでお買い物

フィナーレはコンサートだよ

土日以外もイベントもあるよ

夜のイルミネーションもムードがとってもいいね

ウォールペイントだって大きいね

ヤンベーン」を締めくくる記念イベントも開催されます。

三月三十日、三十一日は「住・安全」がテーマ。警察や消防によるパフォーマンスタウン、コレクティブハウジングの紹介、ガーデニング市、リサイクルマーケットなどが行われます。アンティーク商品などが並ぶヨーロッパの市も楽しみです。

四月六日、七日は「食・健康」をテーマに、健康づくりに役立つ太極拳やジャズダンスなどが披露され、「世界まるごと屋台村」では、世界各国の料理が楽しめます。さらに阪神・淡路百名品百グルメには選ばれた名店も出店されます。

そして、最終の四月十三日、十四日は、「いのち・感動」がテーマ。幅広いジャンルのアート紹介や、ファッション関係のフリーマーケット、ロックやジャズのコンサートも開かれます。十四日のフィナーレでは、歌手の上田正樹さんのライブのほか、吹き上げ花火とレーザーのショーなどを実施。さらに期間中は、ウォールペイントに加え、夜間には約五万个の電球を使用したイルミネーションが街を飾り、雰囲気盛り上げます。新しい街をみなさんにお披露目する楽しいイベントに、ぜひご参加ください。

■イベント期間中の土・日曜日には、JR三ノ宮駅南側から会場まで無料シャトルバスが運行されます。

ひらけ大観劇

涙と笑いの庶民派人生喜劇「狂言」

まずは二歩「狂言」の世界へ足を踏み入れてみよう。
あの人、この人、どこにもいそうな登場人物についつい共感して笑っちゃいます。



あまりに近づいて射ようとする大名(隆司さん)をとめる道通(隆平さん)。「ちょっとちょっと近づきやしませんか」

神戸文化ホールが主催し、今年で第3回目を迎える「若手狂言会」は、次世代の狂言界を担う、関西の若手狂言師が一堂に会し、年々人気上昇中の舞台となっている。演じる側も若手なら、観客も若い女性が多くて年齢層も幅広いのに、改めて驚く。

今再び注目を集めている狂言の魅力と楽しみ方を、大蔵流狂言方の善竹隆司さんに、今回出演された「雁磔」を中心にお話いただいた。

「これはいずれもご存じのものでござる」。大きな松を描いた舞台に、弓矢を持ち威風堂々と登場し名のりをあげる大名。早速に雁を発見し、射殺そうとする。ところが、ここからがなんと頼りない。弓矢を逆さに構えたり、「ここからは狙いにくい」だのと、全然射とうとしないのである。うーん、じれつたい！そこへ道行き(通行人)が石を投げてゆうゆうと雁を捕獲。自分の雁だと譲らない大名に、目代が登場し2人の言い分を聞いて、大名に弓矢で雁を射させてみる、という筋立てだ。

泣いて、笑って、ほろりする人間ってこんなにもあったかい

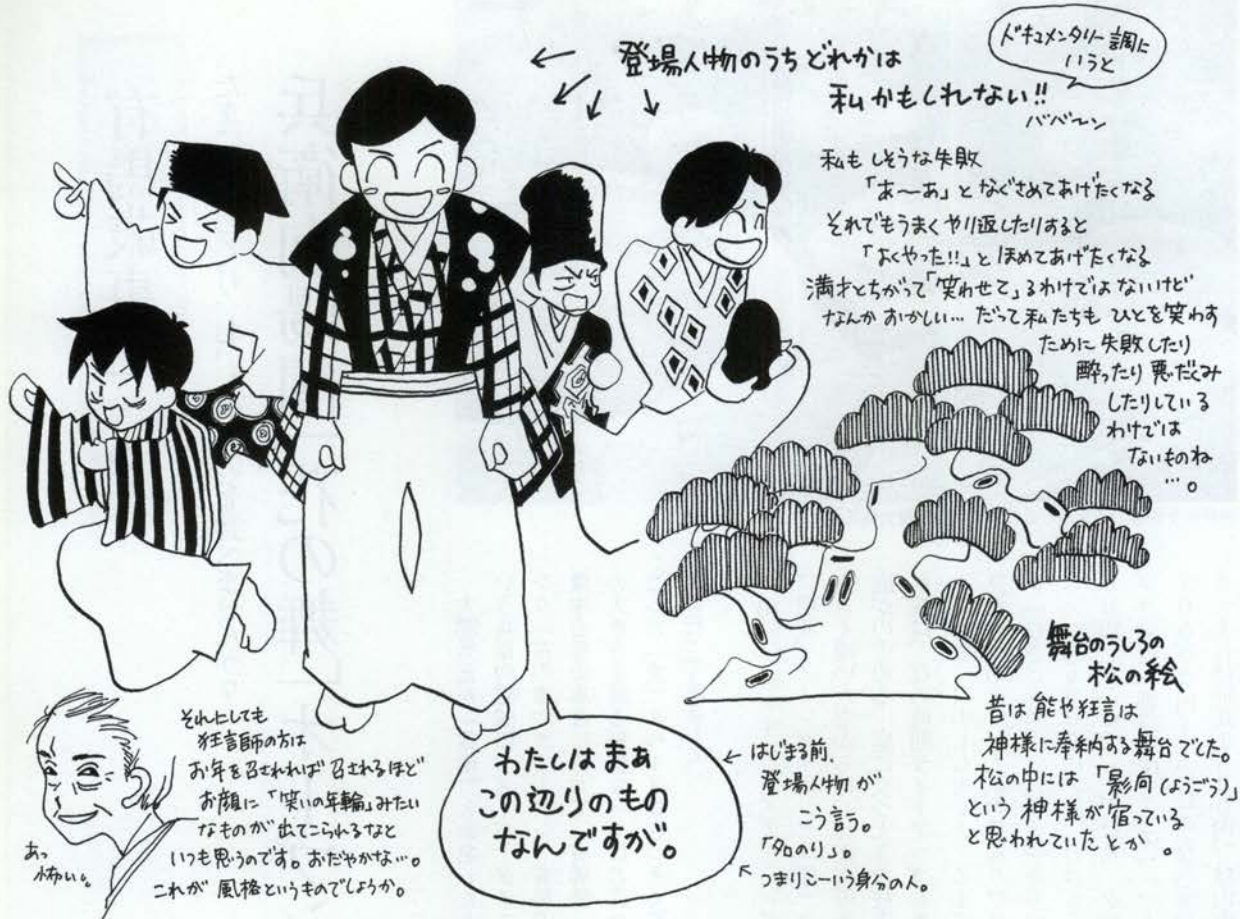


善竹隆司(ぜんちく・たかし)
大蔵流 狂言方。善竹忠一郎の長男で、父に師事。故人岡国宝・善竹彌五郎の曾孫にあたる。5歳の時、狂言「鞠真」で初舞台。以来「三番三」「那須語」「釣狐」を披露。兵庫県立宝塚北高校演劇科講師・能楽協会大阪支部所属。ブルーメール賞受賞・神戸市在住

ともなわなない権力者にふりまわされる庶民の姿は、今の時代なら、会社の上司だと思ったら分かりやすいでしょう?。自分の垣根をこえて誰しもがもっている人間の弱点をちくりと指摘する。身につまされることもあるけれど、庶民の逞しく生きぬく力に励まされ、最後にはおおらかな笑いに包まれて温かい心になる。

日本の演劇である狂言の現在のかたちは、室町時代末期に確立された。現在は大蔵流と和泉流のふたつの流儀があり、約260の現行曲があるという。

狂言の登場人物は2〜4人で、庶民の代表である太郎冠者がシテ(主役)である場合が圧倒的に多いのも、私たち小市民の心をくすぐるのだ。



ドキュメンタリー調に
いうと
ババァン

登場人物のうちどれかは
私かもしれない!!

私も しょうな失敗
「あーあ」となぐさめてあげたくなる
そででもうまくやり返したりすると
「よくやった!!」とほめてあげたくなる
満ちとちがって「笑わせこ」るわけでもないけれど
なぶんかあかいしい... だらと私たちも ひとを笑わす
ために失敗したり
酔ったり 悪たぐみ
したりしている
わけでは
ないものね
...。

舞台のうしろの
松の糸

昔は能や狂言は
神様に奉納する舞台でした。
松の中には「影向(ようごう)」
という神様が宿っている
と思われていたとか。



そおとして
狂言師の方は
お年を召されれば「召されりほど」
お顔に「笑いの年輪」みたい
なものが「出てこらふ」ほど
いつも思っています。おたやがな...
これが「風格」といふものでしょうか。

わたしはまあ
この辺りのもの
なんです。

←はじまる前。
登場人物が
こう言う。
「タノリ」。
つまりニーという身分の人。

上演時間は15分〜40分で、昔は能とあわせた五番立て(現在では能2〜3番に狂言1番の上演が一般的)で、荘重で貴族的な歌舞劇である能と、滑稽で庶民的な対話劇の狂言を交互に演じることで舞台上にメリハリをつけた。

「狂言の舞台には何の道具もないから、例えば『さてもさても大きな川かな』といった時に、観客の想像力でいろんな舞台が作れる。シンプルな表現が100倍にもなる。狂言は決して受け身でない、双方向コミュニケーションなんですよ」。そんな一体感やほのぼのとした笑いの世界が、狂言が現代の人々の心に深く受け入れられる理由かもしれない。

また、狂言には、現代のように勢いで笑わせるギャグのおもしろさではない、きまりがあるのも特徴だ。「台詞は一言一句当時のまま。この題目ではどちらの足からでて、舞台のどこで台詞を言うかすべて決められている。家ごとに代々伝えられている台本をもとに、型だけは口伝で師から教わります。そんながんじがらめのなかでひとつひとつの型を演じて、一度として同じ舞台はないんです」。流儀の違いや家によって微妙に型も台詞も異なり、役者によって見比べる楽しさもある。

「最近狂言のみの狂言会も催されていますし、ホールなどで行われる舞台は初心者向けのものが多いので、まずは頭を空っぽにしてゆったりと楽しんで観てください。その後は、ぜひ能楽堂を訪れて厳肅な雰囲気も味わっていただきたいですね」。



あくまで自分の雁だと言いつ張る大名に死んだ雁を射させてみる目代(「雁礮」)での一場面

●「第3回善竹家の狂言」
対談・お酒と狂言の魅力
上演・「盆山」「船渡蟹」
善竹忠一郎・隆司・隆平(大蔵流狂言方他)
とき・3月23日(土)16:00開演
ところ・神戸酒心館ホール
☎078-841-1122
料金・3500円・酒付・自由席

●「東西狂言名人会」
上演・大蔵流「佐渡狐」和泉流「無布施経」他
茂山千五郎・千三郎・千作、野村萬・与十郎他
とき・6月21日(金)18:30開演
ところ・神戸文化ホール(中ホール)
☎078-351-3535
料金・4500円・全席指定席

有馬歳事記

たまにはゆつくり、おいしいものを食べませんか？

兵衛向陽閣「花の舞」オープン

太閤秀吉が「兵衛」と命名したという兵衛向陽閣に、スーパーダイニング「花の舞」がオープン。有馬温泉中心部の高台にあつて、有馬随一の大きさを誇る旅館ならではの広々とした「食」スペースをさっそく取材に行ってきました。

神戸牛や地鶏の炭火焼と旬の料理が並ぶ炭火焼花会席

10階フロアすべてをダイニングに開放。メインダイニング「蘭」に大きく開いた窓からは、兵衛自慢の庭がのぞめる。庭に立つ大きな枝垂れ桜は、花の時期ライトアップもされるとか。4月にはぜひいたくなお花見が楽しめそう。人気の日帰りプラン「ひさご弁当」（入浴＋喫茶券つき・一人6000円／土・日は6500円）もここでいただける。夕席プランの「創作会席コース」（一人10000円・平日のみ入浴つき・土日は別途15000円）は山海

の珍珠に舌鼓。

和室でくつろぎたい人は炭火焼&和風ダイニング「あじさい」へ。掘りごたつ式の個室（19部屋）でのお昼は「炭火焼花会席」（入浴つき・一人8000円）。夕席プランに、「炭火焼会席コース」（一人10000円・平日のみ入浴つき）がある。目玉の炭火焼きは、神戸牛や魚介類のほか、名古屋コーチンの地鶏も味わえる。

料理が盛りられるうつつわの中には、尾形光琳の弟で、作陶で有名な尾形乾山の写し絵を描いたものもあるとか。趣きのあるうつつわとともに、目にもおいしい料理の数々をぜひ一度おためしあれ。（日帰りプランは11時30分～15時、夕席プランは17時30分～21時・20時ラストオーダー）このほか、神秘的な雰囲気すら漂うアジアダイニング「ブルメリ



10階はすべてダイニングスペースに。左に落ち着いた雰囲気のあるバーがある

有馬一望・歴史の名湯

HYOE

兵衛
向陽閣

TEL (078) 904-0501(代)
URL <http://www.hyoe.co.jp>



有馬温泉月光園

鴻臚館
KOROKAN

TEL (078) 903-2255
姉妹旅館 游月山荘
TEL (078) 904-0366

テニスでいい汗
いい湯にとっぷり味に集う
ARIMA

SUNNY SIDE UP
TENNIS CLUB
TEL (078) 903-1024



攝津有馬
徳所坊

静寂さにつまれた
くつろぎの宿

国際観光旅館

陵楓閣

TEL (078) 904-0675

桜が咲いたら有馬へ行こう 4月7日に「さくらまつり」

善福寺の樹齢250年のイトザクラをはじめ、有馬川の河川敷など、有馬にはいたるところに桜並木や名所がある。今年も4月7日(日)に恒例の「さくらまつり」が開催される。昨年は、有馬川親水公園に屋台が並び、萬助大鼓の演奏や芸奴衆の華麗な踊り、女将たちによるお茶席などさまざまな催しが行われた。春を祝う華やかな有馬に、ぜひ訪れてみてください。



満開の桜に包まれる有馬温泉

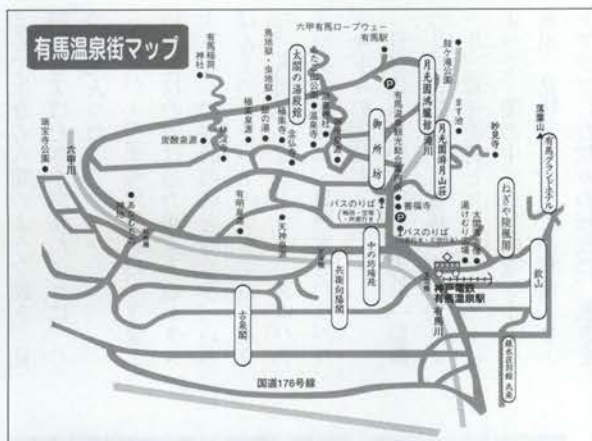


美しい庭がをのぞむメインダイニング「蘭」。オープンキッチンになっていて調理のようすも見られる

ア」、おしゃれな夜にびったりのバー「ザ・ローズバー」がある。

10階には、ギャラリー「蘭」もオープン。大英博物館に公式収蔵品をもつ三田市の陶芸家・佐藤玄さんの作品などが並んでいる。

また、9階にセラピールームがオープン。100%天然の植物のエッセンシャルオイルを使ったマッサージ「アロマボディヒーリング」に、心も身体もほぐれると大人気(3500円)。新しい「兵衛向陽閣」で今まで以上に、充実したリゾートライフが楽しめそう！



高台にある「兵衛向陽閣」は有馬有数の大きさを誇る旅館ながら心のこもったサービスをうけられるのが魅力

有馬での会食・宴会は懐石料理・ステーキが楽しめるり亭「華達」で!!
(昼5000円〜、夜8000円〜)

有馬温泉 政府登録国際観光旅館 銀水荘別館

北楽

TEL (078) 904-3656(代)

自然の恵みを
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

日本の伝統
数寄屋造りの館

欽山

TEL (078) 904-0701
チェックイン13:00、アウト12:00
ゆっくりとお過ごしいただけます。

雅ただようくつろぎの館

中の坊珠苑

TEL (078) 904-0781
会議セミナーからご家族づれまで

有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181

コウベ タウン タウン

恭賀新禧！ エネルギーギッシユに旧正月を祝う 2002神戸南京町春節祭

神戸の冬の風物詩となった神戸南京町春節祭。2月15日から17日まで、南京町広場を中心に開催された。今年には、台湾戯曲専科学校による手袋戲と雑技が神戸初登場！ 本場仕込みの演技に拍手喝采。

本格的な寒さを迎える2月半ば。この寒さを忘れさせてくれるエネルギーギッシユなお祭りが、神戸南京町春節祭。旧暦の元旦にあたる2月12日には、まず南京町広場で神事がとり

行われ、楊貴妃、諸葛孔明、曹操など中国の歴史上の人物に扮した仮行列が神戸南京町、元町商店街を賑やかにパレード。

中国や台湾から新しい伝統芸能集団を招いており、今年には台湾戯曲専科学校による手袋戲と雑技が初登場！ 手袋戲とはいわば指人形。マツチをすってタバコに火をつけて、煙まで吐き出すというコミカルな動きや、右手と左手に分かれた兵士が、武器をつかって戦闘する演技など、

まるで生身の人間のような動き。見物客もまばたきを忘れたように、じっと見入った。

メンバーの平均年齢が12、3歳という雑技の方は迫力満点！地上3メートルもの人間の塔をつくり、いちばん上のメンバーの肩を土台に逆立ち。人間業とは思えないアクロバティックな演技に、見物客もハラハラドキドキの連続だった。

日が落ちてからは、夜光龍「焰龍（イエンロン）」も登場。全長20メートル、蛍光塗料とブラックライトによって、闇の中に幻想的なシーンを演出。見物客もあつたか料理とヒートアップした数々の演技に、寒さを忘れて楽しんだ。



↑↑指人形の手袋戲。商店の2階窓からお年玉袋がさし出され龍がくねくねと舞いながら肩車した使い手が巧みに口にくわえて受け取る

→旧暦の元旦、春節のお供えものが南京町広場の「あずまや」を祭壇にして祭られた。お正月飾りをした南京町のお店では、お正月料理の蘿白糕（大根餅）も売られていた



工業ガス企業が 現代美術展をプロデュース 「カオス展 酸素として」

「ガス」の語源は「カオス (Chaos)」。大阪に本社のある工業ガス会社5社が集まって、本業以外での分野で貢献したいと「空の会」を設立 (代表はエア・ウォーター株式会社青木弘代表取締役会長)。1年に1回の割合でいろいろな企画をプロデュースしていく予定で、今回は現代美術展を開催した。

(写真右下) ボンベ、木、はちみつを使った村岡三郎さんの作品「Heat OXYGEN<熱-酸素>」
(写真左下) 田中さちこさんの作品 (油彩)

展覧会は大阪と神戸で開かれ、神戸での「カオス展」は2月8日〜24日、北野のギャラリー春志音^{はるしおん}で開催。鉄や酸素ボンベなどを使った作品を制作している現代美術の巨匠・村岡三郎さんを中心が集まった

5人の芸術家の作品展。

ちなみに、ガスといえば都市ガスを思い浮かべるが、工業ガスとはパソコンや携帯電話、洋服など、実に多くのものの製造過程で使われている。オープニングパーティーで、「空の会」会員で大陽東洋酸素株式会社の於勢好之輔^{よしかず}さんは、「工業ガスは、目に見えない広い分野で貢献しているという自負があります。展示作品の内にあるもの、目に見えていない心の情景を、しろうとなりに、頭と心を空(くう)にして見てみたい」とあいさつ。

プロデューサーの杉本泰士さん (工業ガスの業界誌をつくる株式会社ガスレビュー代表取締役社長) は、「物質社会で私たちは、精神文化はまったく別の世界の人たちがつくるものだと思っていた。だから社会がぎくしゃくしているのかもしれない。私たちのたずさわる工業ガスは



「空の会」代表の青木弘さん

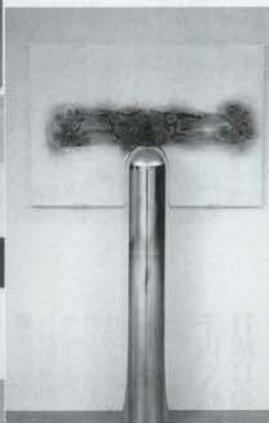
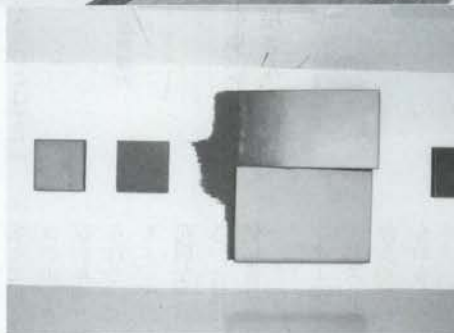
気体から液体にも変化する。私たちもそんなふうにゆとりをもって変化できれば」と話した。

パーティーでは、村岡三郎さんや、出品者の山口武史さん、田中ちえこさんが現代美術の見かたや、自分の作品をくわしく解説。わかりやすい説明に、ふだん現代美術には触れる機会のない人々にも、少し身近に感じられたようだ。



作品を解説する田中ちえこさん

「画期的な展覧会」と村岡三郎さん



■「空の会」事務局
大阪市中央区中寺1-1-57
株式会社ガスレビュー
☎06-6767-1144